

事務事業チェックシート

事務事業No 107 事業名 男女共生推進事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	5	人権尊重社会の実現
施策	2	男女共生社会の実現
基本方針	1	男女の人権が尊重される社会づくり

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律		
関連個別計画	和歌山市男女共生推進行動計画		
担当課・担当課長 (Tel)	男女共生推進課	富松 真矢子 (436-8704)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		市民福祉費	
	目		男女共生推進費	
	大事業		男女共生推進事業	
事項		男女共生推進事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民が、男女共生社会を形成する。	和歌山市男女共生推進協議会の開催 和歌山市男女共生推進会議の強化 関係機関等との連絡調整 行動計画の進捗状況の把握 男女共生社会づくりに向けての全国会議参加 女性団体の活動支援として、和歌山市女性会議連絡会に毎年運営補助金100,000円を交付 男女共生に係る啓発及び各種講座の開催 情報誌等の発行 心の悩み相談事業				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		和歌山市男女共生推進協議会の開催☆第2次和歌山市男女共生推進行動計画進捗状況の把握☆審議会等の女性委員の登用状況の調査☆男女共生施策ワーキンググループ会議の開催☆女性団体の活動支援☆市民の意識調査を行う。☆各種講座、参加者同伴児童の一時保育☆情報誌の発行提供☆市報にコラム掲載☆中学卒業生に男女共生推進啓発チラシの配布☆心の悩み相談を行う。	和歌山市男女共生推進協議会の開催☆第2次和歌山市男女共生推進行動計画進捗状況の把握☆新計画の策定☆審議会等の女性委員の登用状況の調査☆男女共生施策ワーキンググループ会議の開催☆女性団体の活動支援☆市民の意識調査を行う。☆各種講座、参加者同伴児童の一時保育☆情報誌の発行提供☆市報にコラム掲載☆中学卒業生に男女共生推進啓発チラシの配布☆心の悩み相談を行う。	和歌山市男女共生推進協議会の開催☆第3次和歌山市男女共生推進行動計画進捗状況の把握☆審議会等の女性委員の登用状況の調査☆男女共生施策ワーキンググループ会議の開催☆女性団体の活動支援☆市民の意識調査を行う。☆各種講座、参加者同伴児童の一時保育☆情報誌の発行提供☆市報にコラム掲載☆中学卒業生に男女共生推進啓発チラシの配布☆心の悩み相談を行う。	和歌山市男女共生推進協議会の開催☆第3次和歌山市男女共生推進行動計画進捗状況の把握☆審議会等の女性委員の登用状況の調査☆男女共生施策ワーキンググループ会議の開催☆女性団体の活動支援☆市民の意識調査を行う。☆各種講座、参加者同伴児童の一時保育☆情報誌の発行提供☆市報にコラム掲載☆中学卒業生に男女共生推進啓発チラシの配布☆心の悩み相談を行う。	和歌山市男女共生推進協議会の開催☆第3次和歌山市男女共生推進行動計画進捗状況の把握☆審議会等の女性委員の登用状況の調査☆男女共生施策ワーキンググループ会議の開催☆女性団体の活動支援☆市民の意識調査を行う。☆各種講座、参加者同伴児童の一時保育☆情報誌の発行提供☆市報にコラム掲載☆中学卒業生に男女共生推進啓発チラシの配布☆心の悩み相談を行う。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	6,689	5,898	7,514	6,691	6,847		6,847		6,847		
	伸び率 (%)	-	-	12.3%		-8.9%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	12,764	13,200	13,200	13,114	13,117		13,117		13,117	
		非常勤職員	1,116	2,648	2,648	2,408	2,183		2,183		2,183	
		小計	13,880	15,848	15,848	15,522	15,300		15,300		15,300	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他			9	9							
一般財源 (税等)	6,689	5,898	7,514	6,691	6,847		6,847		6,847			
所要人数	常勤職員	1.72	1.76	4.76	1.73	4.76		4.76		4.76		
	非常勤職員	0.71	1.43	1.43	1.23	1.43		1.43		1.43		
主な予算内訳		報酬 (非常勤報酬・附属機関委員報酬) 3,796千円、報償金998千円、需用費691千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	男女共同参画社会実現の啓発講座等の実施件数					年度目標値	25	25	25	25	25
						実績値	22	21			
	単位	件	全体目標値	25	全体目標達成度	84.0%	年度別達成度	88.0%	84.0%		
	情報誌の発行					年度目標値	2	2	2	2	2
						実績値	2	2			
成果指標	男女共生推進行動計画にかかる事業実施率 (実施事業数/予定事業数)					年度目標値	100	100	100	100	100
						実績値	98	98			
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	98.0%	年度別達成度	98.0%	98.0%		
	審議会等への女性の参画率					年度目標値	30	30	30	30	30
						実績値	27	27.4			
	単位	%	全体目標値	30	全体目標達成度	91.3%	年度別達成度	90.0%	91.3%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	男女共同参画社会基本法第九条により、地方公共団体は、法の基本理念にのっとり、男女共同参画社会の形成の促進に関し施策及びその実施の責務があると規定されている
「見直し」 「改善」案	現在の行動計画である「第2次男女共生推進行動計画」が27年3月に終了した。27年4月に「第3次男女共生推進行動計画」を策定し、より充実した計画とした。